

---

---

2020年度 第3四半期

# 決算説明資料

---

---

地球の恵みを、社会の望みに。



2021年2月10日

## 2020年度 第3四半期業績

- 第3四半期業績のポイント……………4
- 連結損益計算書……………5
- セグメント別 売上収益……………6
- セグメント別 営業利益……………7
- 各セグメントの売上収益・営業利益……………8
- 連結財政状態計算書……………16
- キャッシュ・フローの状況……………17

## 2020年度 通期業績予想

- 通期業績予想……………19
- セグメント別 売上収益・営業利益予想……………20

## 補足資料

- 連結対象会社数・主な新規連結会社……………22
- 産業ガス及びエネルギー関連の製品別 売上収益(国内) ……23

## ご参考資料

- カーボンニュートラルの実現に貢献する事業・技術のご紹介……………25

## 注 記 事 項

- ・本資料に掲載されている目標数値及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ・当社は2019年度第1四半期よりIFRS（国際会計基準）を適用しております。

---

---

# 2020年度 第3四半期業績

---

---

### ● 第3四半期業績：営業利益の減益幅が縮小

- ・ 第3四半期累計（4-12月）の営業利益は**前年同期比93.4%**と第2四半期累計（4-9月）の同88.4%から減益幅が縮小
- ・ 第3四半期（10-12月）は営業利益167億円（**同100.1%**）となり前年同期の水準まで回復
  
- ・ また、第3四半期（10-12月）は、前年同期に計上した大東化学株のM&Aに伴う負ののれん発生益（21億円）の影響を除くと営業利益は**対前年+21億円**と大幅増益となった。

### 【第3四半期（10-12月）の営業利益が実質的に増益となった主な要因】

- ・ 感染管理製品をはじめとした新型コロナを契機とするビジネス機会が拡大
- ・ ケミカル、農業・食品における収益改善が進展
- ・ インド産業ガス事業が好調
- ・ 働き方改革等による費用低減効果が継続

# 連結損益計算書

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	
			金額	前年同期比
<b>売上収益</b>	5,921	<b>5,864</b>	▲57	99.0%
売上原価	▲4,589	▲4,533	+56	
<b>売上総利益</b>	1,332	<b>1,331</b>	▲0	100.0%
販売費・一般管理費	▲1,002	▲1,008	▲6	
その他の収益・費用	47	24	▲23	
持分法による投資利益	11	15	+3	
<b>営業利益</b>	388	<b>363</b>	▲26	93.4%
金融収益・費用	▲4	▲10	▲6	
<b>税引前四半期利益</b>	384	<b>352</b>	▲32	91.7%
法人所得税費用	▲117	▲120	▲3	
非継続事業からの四半期損失	▲1	▲0	+1	
<b>四半期利益</b>	266	<b>232</b>	▲34	87.3%
<b>親会社の所有者</b>	233	<b>212</b>	▲21	91.0%
非支配持分	33	20	▲13	
<b>営業利益率</b>	6.6%	<b>6.2%</b>		
<b>ROE ※1</b>	7.6%	<b>6.3%</b>		
<b>基本的 1 株当たり四半期利益 ※2</b>	116.95円	<b>93.54円</b>		

※1 「親会社の所有者に帰属する四半期利益」  
 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分（期首・四半期末の平均）」

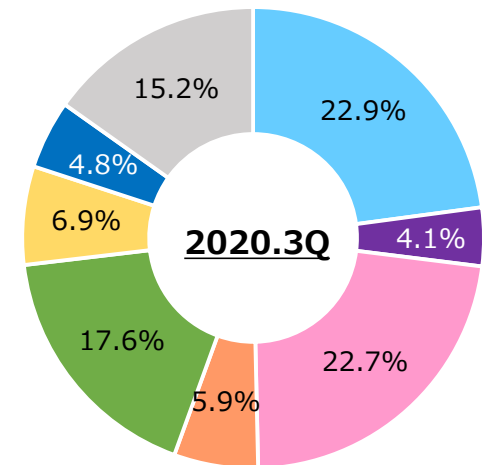
※2 基本的 1 株当たり四半期利益は  
 期中平均発行株式数により算出しています。

# セグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	1,380	<b>1,341</b>	▲40	97.1%
ケミカル関連	187	<b>241</b>	+54	128.6%
医療関連	1,355	<b>1,333</b>	▲22	98.4%
エネルギー関連	351	<b>347</b>	▲4	99.0%
農業・食品関連	1,072	<b>1,029</b>	▲43	96.0%
物流関連	380	<b>403</b>	+22	105.8%
海水関連	288	<b>281</b>	▲7	97.5%
その他	907	<b>890</b>	▲18	98.0%
合計	5,921	<b>5,864</b>	▲57	99.0%

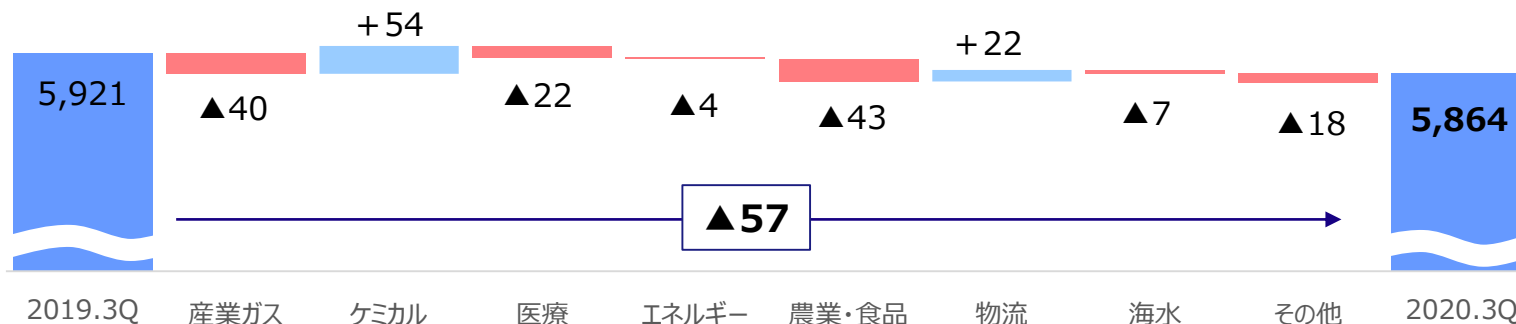
## セグメント別 売上収益構成比



- 産業ガス関連
- ケミカル関連
- 医療関連
- エネルギー関連
- 農業・食品関連
- 物流関連
- 海水関連
- その他

## セグメント別 売上収益増減

(単位：億円)

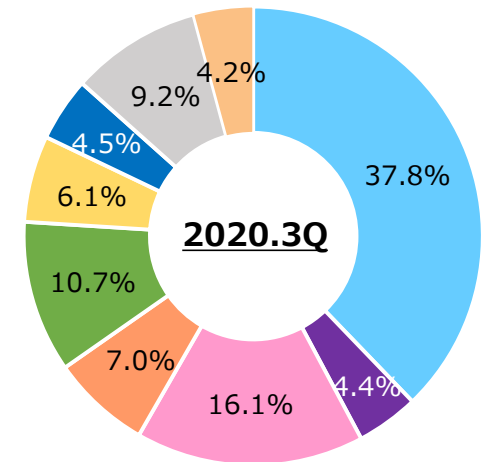


# セグメント別 営業利益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	141	137	▲4	97.0%
ケミカル関連	24	16	▲8	66.4%
医療関連	59	58	▲1	98.8%
エネルギー関連	21	26	+5	121.7%
農業・食品関連	36	39	+3	108.5%
物流関連	19	22	+4	119.2%
海水関連	21	16	▲5	77.0%
その他	50	33	▲17	66.5%
(調整額)	17	15	▲2	87.7%
合計 <sup>※</sup>	388	363	▲26	93.4%

## セグメント別 営業利益構成比



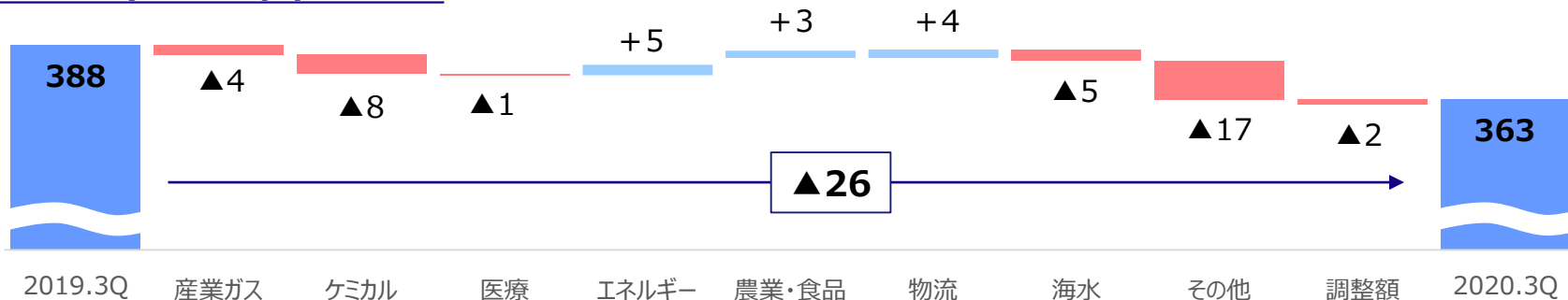
- 産業ガス関連
- ケミカル関連
- 医療関連
- エネルギー関連
- 農業・食品関連
- 物流関連
- 海水関連
- その他
- 調整額

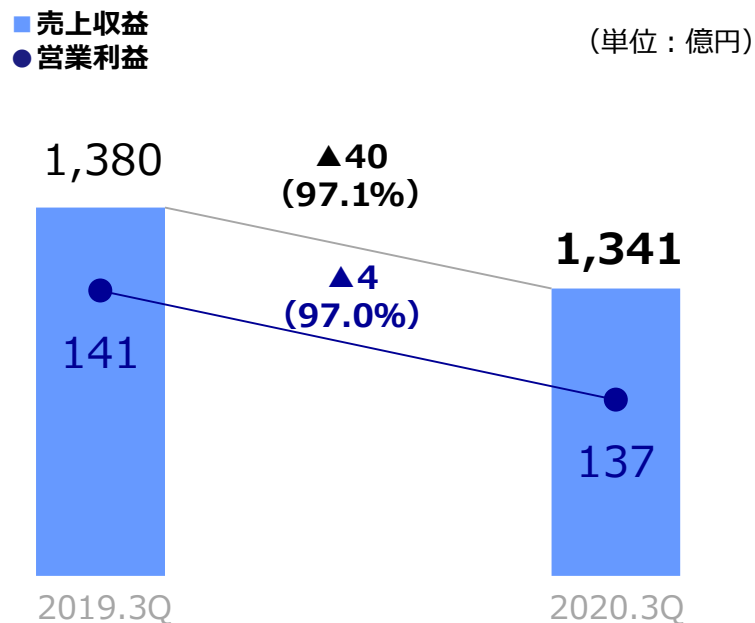
※調整額：セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない当社本社部門の損益

※従来、各セグメントに計上していた新規事業領域の研究開発費については、第2四半期より「調整額」に計上する方法に変更しています。これに伴い、前年度の比較数値も組み替えています。

(単位：億円)

## セグメント別 営業利益増減





## 主な増減要因

### ■ 売上収益 ▲40億円

- 【－】・鉄鋼向けオンサイトガス供給減
- ・ローリー・シリンダー供給減
- 【＋】・Air Water India社の新規連結効果

### ■ 営業利益 ▲4億円

- 【－】・鉄鋼向けオンサイトガス供給減
- ・ローリー・シリンダー供給減
- ・炭酸ガスの供給コスト増
- ・前年度に計上した土地売却益の反動減
- 【＋】・Air Water India社の新規連結効果

## ■ サブセグメント別 売上収益

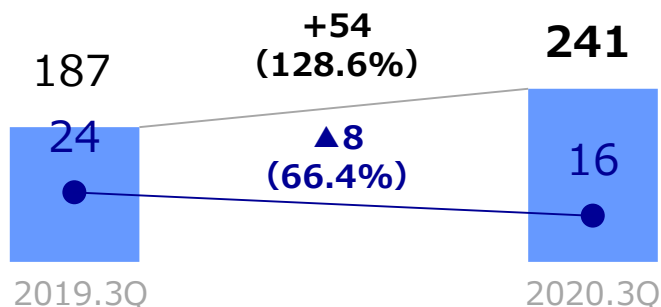
(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
ガス	898	<b>797</b>	▲100	88.8%
機器・工事他	422	<b>427</b>	+4	101.0%
海外	60	<b>116</b>	+57	194.8%
計	1,380	<b>1,341</b>	▲40	97.1%



■ 売上収益  
● 営業利益

(単位：億円)



## 主な増減要因

### ■ 売上収益 +54億円

- 【+】・(株)FILWEL・大東化学(株)の新規連結効果
- 【-】・無水フタル酸の単価下落および販売減

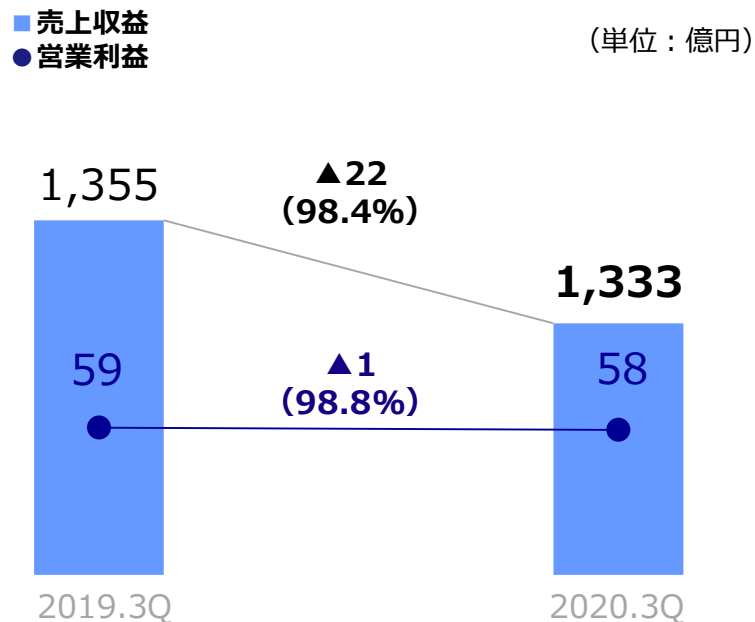
### ■ 営業利益 ▲8億円

- 【-】・前年同期に計上した大東化学(株)の負ののれん発生益の反動減
- 【+】・(株)FILWEL・大東化学(株)の新規連結効果
- ・電子材料向け機能化学品の販売増
- ・工場再編に伴う収益改善が進展

## ■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
機能化学品	96	160	+64	167.1%
川崎化成工業	92	81	▲11	88.5%
計	187	241	+54	128.6%



## 主な増減要因

### ■売上収益 ▲22億円

- 【-】・手術件数・通院、患者数減による医療サービス（SPD）の取扱量減
- ・国内及びシンガポールでの病院設備工事の延期・遅延
- 【+】・感染管理製品の販売増（マスク、手指消毒剤、簡易陰圧装置等）

### ■営業利益 ▲1億円

- 【-】・国内及びシンガポールでの病院設備工事の延期・遅延
- 【+】・感染管理製品の販売増（マスク、手指消毒剤、簡易陰圧装置等）

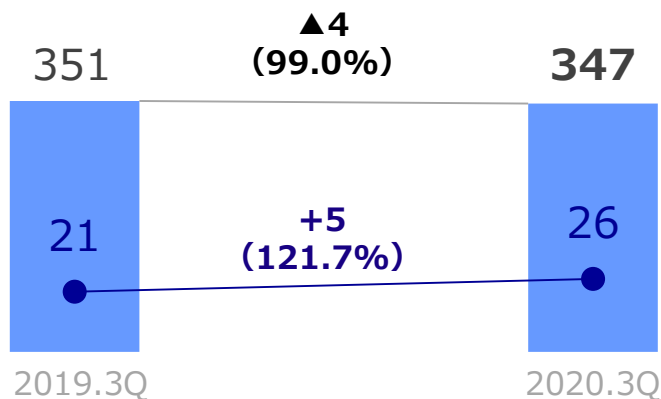
## ■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
設 備	187	<b>170</b>	▲17	90.7%
医 療 サ ー ビ ス	633	<b>572</b>	▲61	90.4%
医 療 ガ ス	66	<b>62</b>	▲4	94.1%
医 療 機 器	50	<b>70</b>	+20	139.6%
在 宅 医 療	72	<b>74</b>	+3	103.7%
衛 生 材 料	181	<b>233</b>	+52	128.5%
そ の 他	166	<b>153</b>	▲14	91.7%
計	1,355	<b>1,333</b>	▲22	98.4%

■ 売上収益  
● 営業利益

(単位：億円)



## 主な増減要因

### ■ 売上収益 ▲4億円

- 【-】・輸入価格に連動しLPガス・灯油の販売単価が低下
- ・業務用・工業用LPガスの販売数量減
- 【+】・ベトナム子会社の新規連結効果

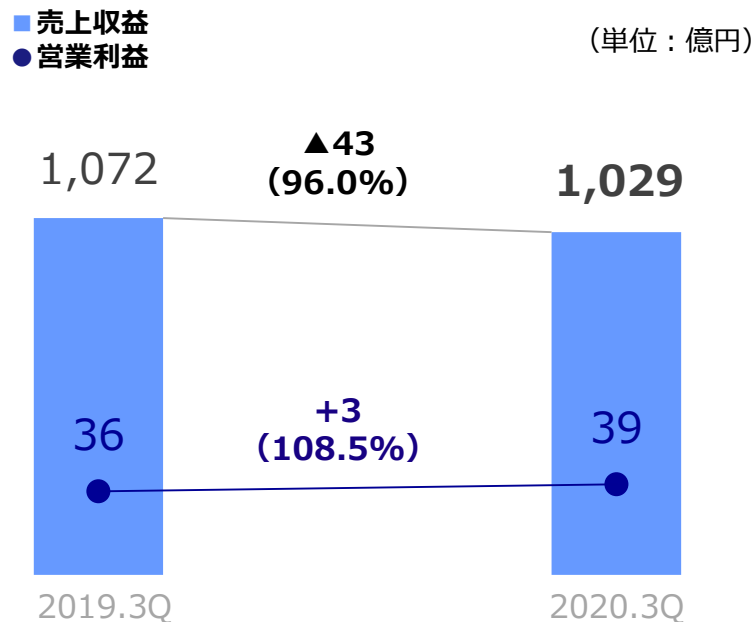
### ■ 営業利益 +5億円

- 【+】・民生用LPガスの販売数量増
- 【-】・エネルギー関連機器の販売・工事減

## ■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
L P ガ ス	341	<b>337</b>	▲4	98.9%
天然ガス関連ほか	10	<b>10</b>	+0	103.4%
計	351	<b>347</b>	▲4	99.0%



## 主な増減要因

### ■売上収益 ▲43億円

- 【－】・青果小売分野での店舗休業や時短営業
- ・外出自粛による飲料の受託量減
- ・外食・ホテル向け業務用食品の需要減

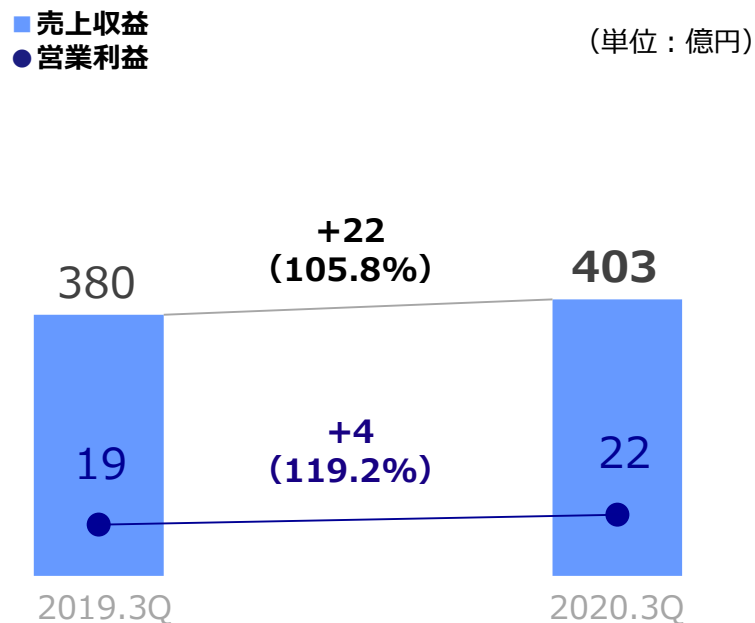
### ■営業利益 +3億円

- 【＋】・スイーツ分野・青果小売分野での収益改善が進展
- 【－】・外食・ホテル向け業務用食品の需要減

## ■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
農産・加工	456	447	▲9	98.1%
飲料	389	372	▲17	95.6%
その他	227	210	▲17	92.5%
計	1,072	1,029	▲43	96.0%



## 主な増減要因

### ■ 売上収益 +22億円

- 【+】・(株)桂通商の新規連結効果
- ・スーパー向け低温物流の荷扱量増
- 【-】・シャーシ輸送の荷扱量減

### ■ 営業利益 +4億円

- 【+】・軽油価格の下落によるコスト改善
- ・低温物流センターの稼働率が向上
- ・(株)桂通商の新規連結効果
- 【-】・シャーシ輸送の荷扱量減

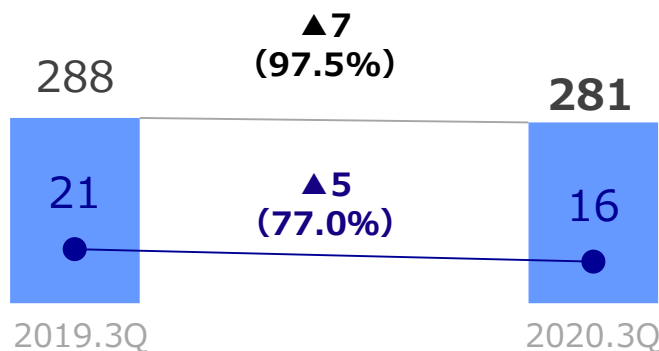
## ■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
運送	167	<b>182</b>	+16	109.5%
3PL	173	<b>178</b>	+5	102.8%
車体	41	<b>43</b>	+2	104.1%
計	380	<b>403</b>	+22	105.8%

■ 売上収益  
● 営業利益

(単位：億円)



## 主な増減要因

### ■ 売上収益 ▲7億円

- 【－】・一般窯業用マグネシアの販売減
- ・ 外食・食品加工向け業務用塩の販売減
- 【＋】・水処理設備、下水管更生の受注増

### ■ 営業利益 ▲5億円

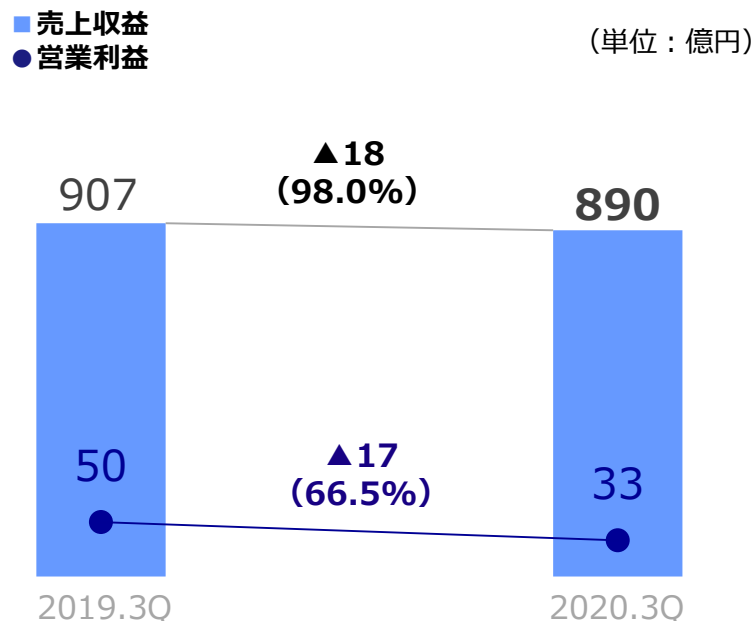
- 【－】・讃岐工場での大型定期修繕
- ・ 小名浜発電所での定期修繕（隔年実施）
- ・ 外食・食品加工向け業務用塩の販売減

## ■ サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
塩 関 連 ※	212	222	+10	104.6%
マ グ ネ シ ア	76	59	▲17	77.7%
計	288	281	▲7	97.5%

※(株)日本海水の塩事業、環境事業、電力事業、食品事業等で構成されています。



## 主な増減要因

### ■売上収益 ▲18億円

- 【－】・建設関連子会社での工事案件減  
・車載向け電子材料の販売減
- 【＋】・防府発電所の稼働（2019年7月より操業）

### ■営業利益 ▲17億円

- 【－】・防府発電所での定期設備点検（稼働後初）  
・高出力UPS分野でプロジェクト案件が遅延  
・建設関連子会社での工事案件減
- 【＋】・エアゾールでのアルコール除菌剤の受託量増

## ■サブセグメント別 売上収益

(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減	前年同期比
ゾール	148	<b>151</b>	+3	101.8%
情報電子材料	301	<b>288</b>	▲13	95.6%
海外エンジニアリング	163	<b>165</b>	+2	101.2%
その他	295	<b>287</b>	▲9	97.0%
計	907	<b>890</b>	▲18	98.0%

(単位：億円)

	2020年3月末	2020年12月末	増減	
			金額	率
流動資産	3,333	<b>3,400</b>	+67	102.0%
非流動資産	5,664	<b>5,871</b>	+207	103.6%
資産合計	8,997	<b>9,270</b>	+273	103.0%
流動負債	2,835	<b>2,612</b>	▲223	92.1%
非流動負債	2,644	<b>3,050</b>	+406	115.4%
負債合計	5,479	<b>5,661</b>	+183	103.3%
資本合計	3,518	<b>3,609</b>	+91	102.6%
負債・資本合計	8,997	<b>9,270</b>	+273	103.0%
親会社の所有者に帰属する持分	3,320	<b>3,394</b>		
有利子負債	3,342	<b>3,475</b>		
親会社所有者帰属持分比率	36.9%	<b>36.6%</b>		
ネットD/Eレシオ ※	0.88	<b>0.90</b>		

※ 「ネット有利子負債」 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分」



(単位：億円)

	2019.3Q	2020.3Q	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	237	<b>471</b>	+235
投資キャッシュ・フロー (②)	▲976	<b>▲415</b>	+560
財務キャッシュ・フロー (③)	823	<b>▲52</b>	▲875
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	84	<b>4</b>	▲80
現金及び現金同等物の四半期末残高	413	<b>433</b>	+20
フリーキャッシュ・フロー (①+②)	▲739	<b>+56</b>	+795

---

---

# 2020年度 通期業績予想

---

---

# 2020年度 通期業績予想

売上収益、営業利益、税引前利益、当期利益につきましては、  
見直予想(11/12公表)の通りといたします。

(単位：億円)

	2019年度 (実績)	2020年度 (見直予想)	増減		2020年度 (期初予想)
			金額	前年比	
売上収益	8,091	<b>8,200</b>	+109.2	101.3%	8,100
営業利益	506	<b>500</b>	▲6	98.8%	460
税引前利益	498	<b>485</b>	▲13	97.3%	450
親会社の所有者に帰属する 当期利益	304	<b>290</b>	▲14	95.3%	270
有利子負債	3,342	<b>3,467</b>	+124	103.7%	3,365
親会社の所有者に帰属する持分	3,320	<b>3,475</b>	+155	104.7%	3,486
資産合計	8,997	<b>9,580</b>	+583	106.5%	9,479
営業利益率	6.3%	<b>6.1%</b>			5.7%
ROE ※1	10.0%	<b>8.5%</b>			7.9%
基本的 1株当たり当期利益	147.43円	<b>128.13円</b>			118.69円
親会社所有者帰属持分比率	36.9%	<b>36.3%</b>			36.8%
ネットD/Eレシオ ※2	0.88	<b>0.89</b>			0.84

※1 「親会社の所有者に帰属する当期利益」 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分（期首・期末の平均）」

※2 「ネット有利子負債」 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分」

# セグメント別 売上収益・営業利益予想

(単位：億円)  **エアウォーター**

		2019年度 通期	2020年度 通期	増減		2020年度通期	
		実績	① 見直予想	金額	前年比	② 2020.3Q実績	①-② 2020.4Q予想
産業ガス関連	売上収益	1,890	<b>1,910</b>	+20	101.1%	1,341	569
	営業利益	192	<b>199</b>	+7	103.4%	137	62
ケミカル関連	売上収益	275	<b>330</b>	+55	120.1%	241	89
	営業利益	13	<b>18</b>	+5	134.5%	16	2
医療関連	売上収益	1,879	<b>1,850</b>	▲29	98.4%	1,333	517
	営業利益	105	<b>105</b>	+0	100.4%	58	47
エネルギー 関連	売上収益	520	<b>560</b>	+40	107.8%	347	213
	営業利益	43	<b>46</b>	+3	108.2%	26	20
農業・食品 関連	売上収益	1,373	<b>1,360</b>	▲13	99.1%	1,029	331
	営業利益	33	<b>35</b>	+2	106.6%	39	▲4
物流関連	売上収益	504	<b>550</b>	+46	109.1%	403	147
	営業利益	24	<b>29</b>	+5	121.0%	22	7
海水関連	売上収益	400	<b>400</b>	+0	100.0%	281	119
	営業利益	29	<b>28</b>	▲1	95.4%	16	12
その他 (ソル・情報電子・海外 エンジニアリング・その他)	売上収益	1,251	<b>1,240</b>	▲11	99.2%	890	350
	営業利益	73	<b>55</b>	▲18	75.0%	33	22
(調整額)	営業利益	▲6	<b>▲15</b>	▲9	-	15	▲30
合 計	売上収益	8,091	<b>8,200</b>	+109	101.3%	5,864	2,336
	営業利益	506	<b>500</b>	▲6	98.8%	363	137

※2020年11月12日付で公表した見直予想

---

---

# 補 足 資 料

---

---

	2020年3月末	2020年12月末	増減
連結子会社 ※	125	<b>122</b>	4社増加、7社減少
持分法適用会社	17	<b>13</b>	4社減少
合 計	142	<b>135</b>	7社減少

※連結子会社の数には、当社が直接連結経理処理を実施している会社のみを含めており、連結子会社が連結経理処理を実施している関係会社はその数から除外しています。なお、上記連結子会社には、ジョイント・オペレーション（共同支配事業）を含んでいます。

## 2020年度 主な新規連結会社

会社名	セグメント	連結開始時期
Air Water Vietnam Co., Ltd.	産業ガス	2020.1Q
Pacific Petroleum Import and Export Trading Joint Stock Company	エネルギー	2020.1Q
(株)桂通商	物流	2020.1Q

## (参考) 2019年度 主な新規連結会社

会社名	セグメント	連結開始時期
Air Water India Pte. Ltd.	産業ガス	2019.3Q
Ecofroz S.A.	農業・食品	2019.3Q
(株)FILWEL	ケミカル	2019.2Q
大東化学(株)	ケミカル	2019.3Q
Hitec Holding B.V.	その他	2019.3Q

## 産業ガス及びエネルギー関連の製品別 売上収益（国内）

（単位：億円）

	2019.3Q	2020.3Q	増減	
	金額	金額	金額	前年同期比
酸素	219	<b>161</b>	▲58	73.5%
窒素	223	<b>225</b>	+1	100.5%
アルゴン	97	<b>88</b>	▲8	91.5%
炭酸ガス	169	<b>154</b>	▲15	91.1%
水素	36	<b>32</b>	▲4	88.4%
ヘリウム	21	<b>18</b>	▲2	88.9%
その他ガス	134	<b>120</b>	▲14	89.5%
産業ガス 計	898	<b>797</b>	▲100	88.8%
LPガス	177	<b>172</b>	▲5	96.9%
灯油	60	<b>48</b>	▲12	79.9%

※ 海外における産業ガス及びLPガスの売上収益は含めていません。

---

---

# ご参考資料

---

---



# カーボンニュートラルの実現に貢献する事業・技術のご紹介①

## LNG関連技術

エネルギー事業として、重油からLPG/LNGへ燃料転換を推進し、お客様工場環境負荷低減に貢献。さらに産業ガスの極低温技術を用いたLNG供給装置や輸送機器を自社開発しており、LNGの普及によって市場成長が見込まれる新領域にも積極的に取り組む。

### 既存事業



#### ◀ ガス体エネルギーへの転換

お客様の工場エネルギーをLPG/LNGへ転換

#### LNG供給装置・輸送機器 ▶

低温技術を活かしたLNG供給装置・輸送機器の開発



### 新領域



#### ◀ 小規模ユーザー向けLNG供給

産業ガスプラントのノウハウを活用した供給システムを開発

#### LNGトラック・燃料船の普及 ▶

エンジニアリング技術でLNGの普及に貢献



- ・貯槽・気化器を一体化した省スペース型のLNG サテライト設備「V サテライト」を開発（2020年1月）
- ・コンパクト設計を重視した小規模LNG供給設備「マイクロサテライト」を開発（2020年12月）
- ・LNGトラック向け小型LNG 充填設備を三菱商事と共同開発 北海道で実証試験を開始（2020年10月）

- ニュースリリースは[こちら](#)
- ニュースリリースは[こちら](#)
- ニュースリリースは[こちら](#)

## カーボンニュートラルの実現に貢献する事業・技術のご紹介②

### 炭酸ガス関連技術

石油化学工場や製油所などから発生するCO<sub>2</sub>を精製し、液化炭酸ガス・ドライアイスとして販売。純度の低い排ガスから効率よくCO<sub>2</sub>を回収・精製する技術開発や、回収したCO<sub>2</sub>の有効活用・資源利用に取り組む。

#### 既存事業



炭酸ガス・  
ドライアイス供給

液化炭酸ガス、  
ドライアイスの供給

排CO<sub>2</sub>の有効活用

光合成促進など



#### 注力する 研究開発 分野



CO<sub>2</sub>の回収・精製技術

ごみ焼却場の排ガスから  
CO<sub>2</sub>を回収

資源利用  
(CO発生装置の開発等)

有用な化学原料である一酸化  
炭素に変換可能な装置を開発



- ・ごみ焼却炉排ガスからの二酸化炭素回収設備の開発に着手（2020年9月）
- ・炭化水素のCO<sub>2</sub>改質技術と精製技術を応用した環境負荷低減型のCO発生装置を開発（2019年12月）

ニュースリリースは[こちら](#)  
ニュースリリースは[こちら](#)

# カーボンニュートラルの実現に貢献する事業・技術のご紹介③

## 水素ガス関連技術

工業用水素ガスにおいて、国内9カ所の圧縮水素製造拠点と9カ所のオンサイト供給拠点を保有し、製造、貯蔵、輸送、供給といった一連のサプライチェーンを確立。発生装置やエンジニアリング技術を核として、エネルギー分野を含めた水素社会の実現に貢献する。

### 既存事業



#### 水素ガス供給

工業用水素ガス供給  
(トレーラー・シリンダー)

#### 水素発生装置

水素発生装置による  
オンサイトガス供給



### 新領域



#### 液化水素の輸送・貯槽

米国子会社において液体水素の  
輸送機器や貯槽装置を製造・販売

#### 地産地消による エネルギー水素の供給

家畜ふん尿由来のバイオガスを  
原料に水素を精製



- ・世界最高水準の水素ガス発生効率と環境負荷低減を実現する水素ガス発生装置「VHR」を開発（2019年1月）
- ・北海道十勝地区におけるバイオマス由来水素を活用した水素サプライチェーンの実証事業を開始（2017年1月）
- ・「エア・ウォーター移動式水素ステーション札幌」の開所について（2018年3月）

- ・ニュースリリースは[こちら](#)
- ・ニュースリリースは[こちら](#)
- ・ニュースリリースは[こちら](#)

地球の恵みを、社会の望みに。



**エアウォーター**